

奈良県教育の基礎検討課題について

奈良県教育委員会

奈良県教育の基礎検討課題について

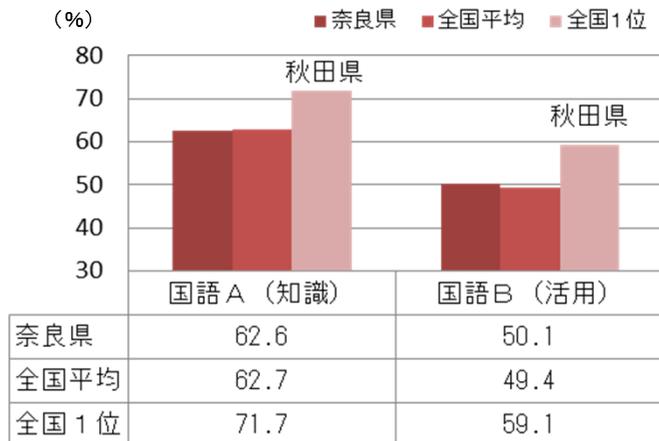
- 1 学力・学習意欲の向上・・・ P 1
- 2 規範意識の醸成・・・・・・・・ P15
- 3 体力の向上・・・・・・・・ P23

1 学力・学習意欲の向上

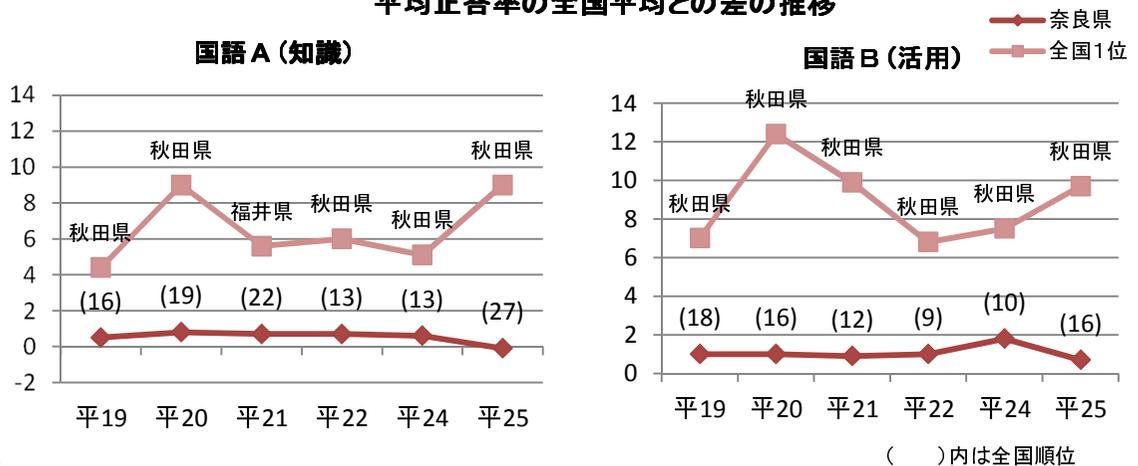
1-1 学力の状況(小学生)

- ・小学生の学力について、全国学力・学習状況調査の4教科の平均正答率で見ると、おおむね全国平均を上回る状況で推移している。
- ・全国1位との差は、4教科で3.9ポイント～11.4ポイントの差がある。

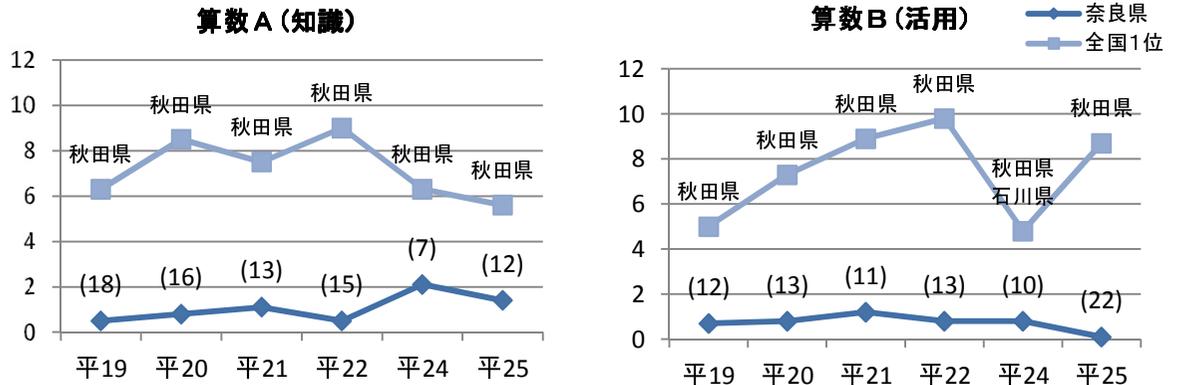
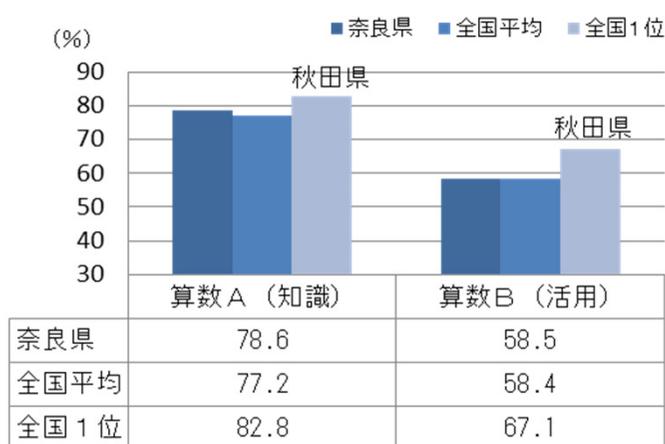
H25平均正答率(国語)



平均正答率の全国平均との差の推移



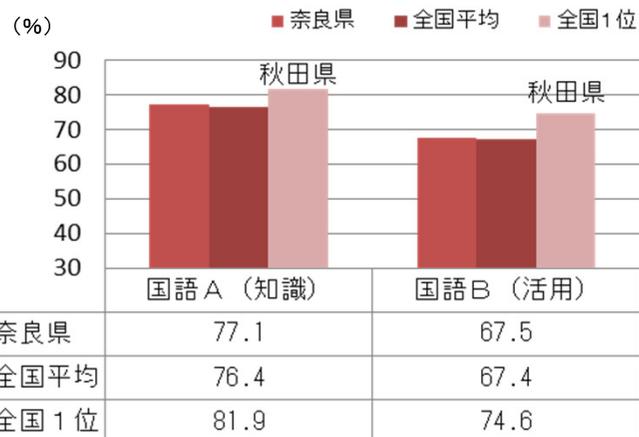
H25平均正答率(算数)



1-2 学力の状況(中学生)

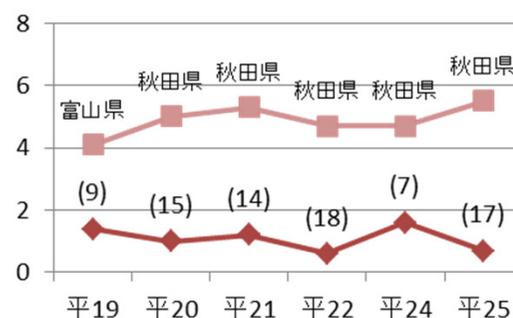
- ・中学生の学力について、全国学力・学習状況調査の4教科の平均正答率で見ると、おおむね全国平均を上回る状況で推移している。
- ・全国1位との差は、4教科で2.7ポイント~7.9ポイントの差がある。

H25平均正答率(国語)

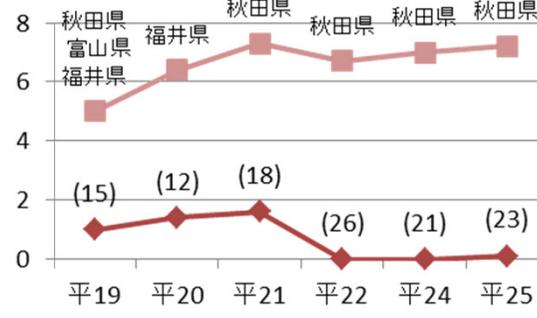


平均正答率の全国平均との差の推移

国語A(知識)

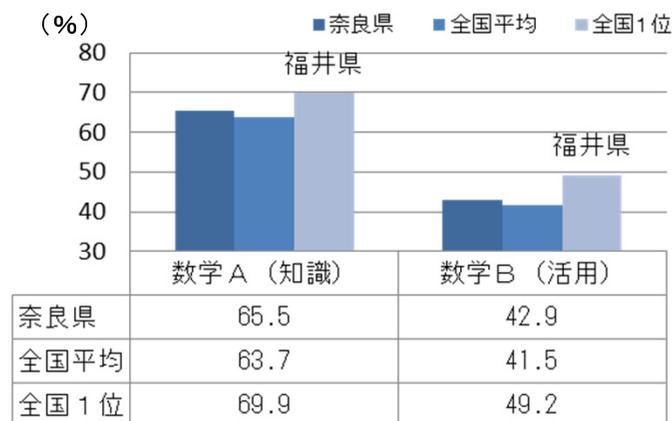


国語B(活用)

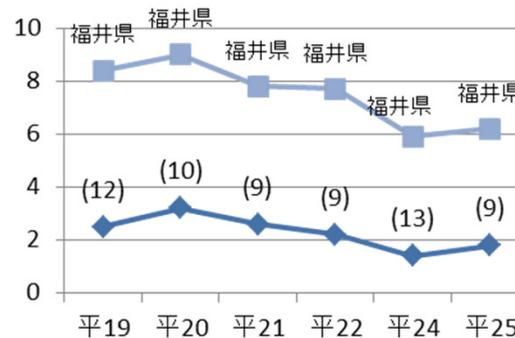


()内は全国順位

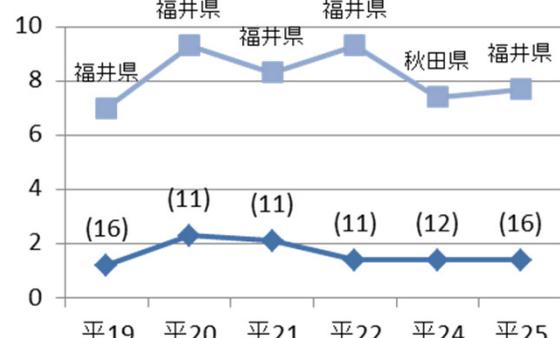
H25平均正答率(数学)



数学A(知識)



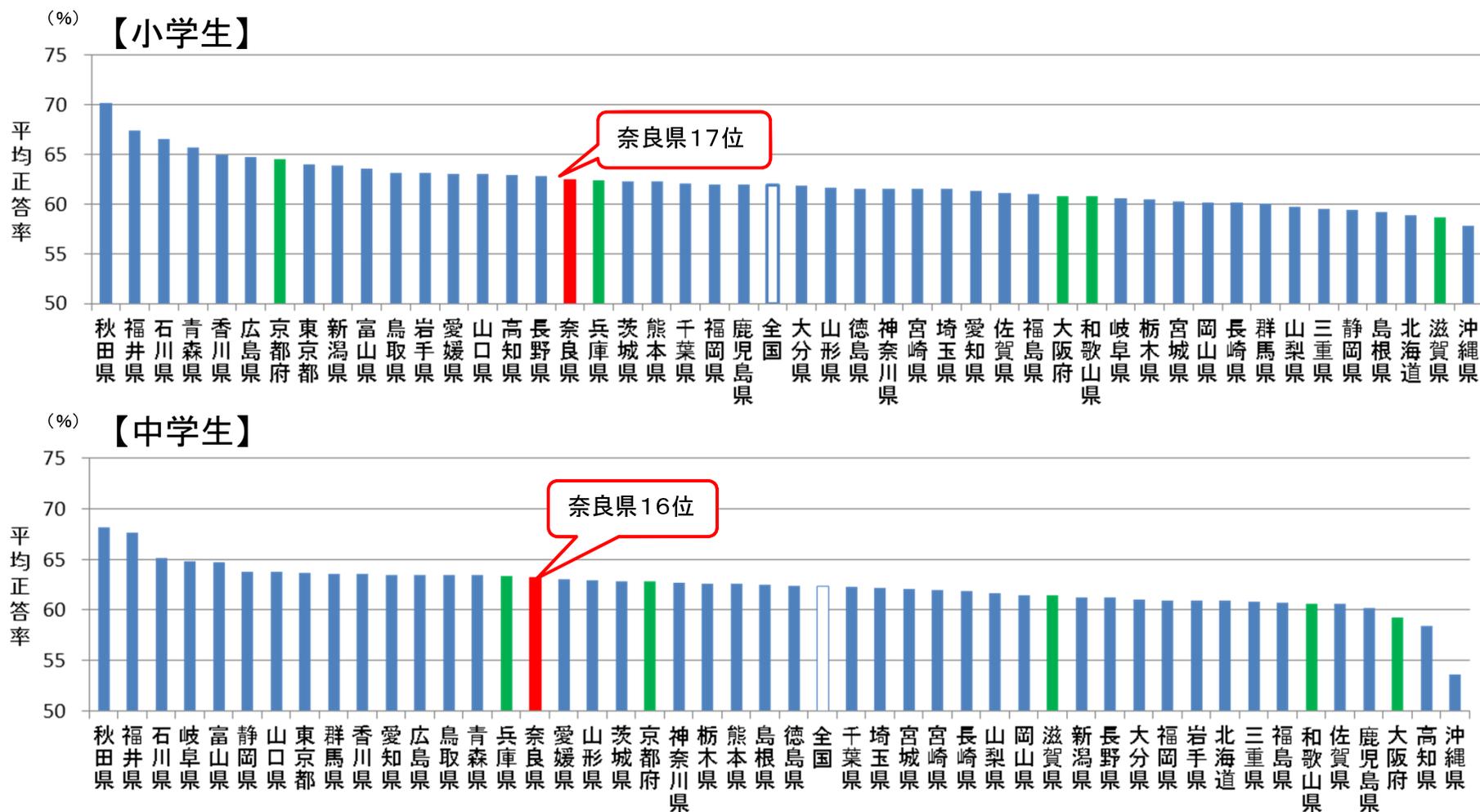
数学B(活用)



1-3 学力(都道府県別比較)

- ・小・中学生の学力について、H25平均正答率(4教科総合)を都道府県別にみると、奈良県は小学生17位、中学生16位。秋田県、福井県、石川県が小・中とも上位を占めている。
- ・全国1位との差は、小学生で7.7ポイント、中学生で4.9ポイントである。

注)4教科総合:国語A, B、算数・数学A, Bの各平均正答率を相加平均したもの

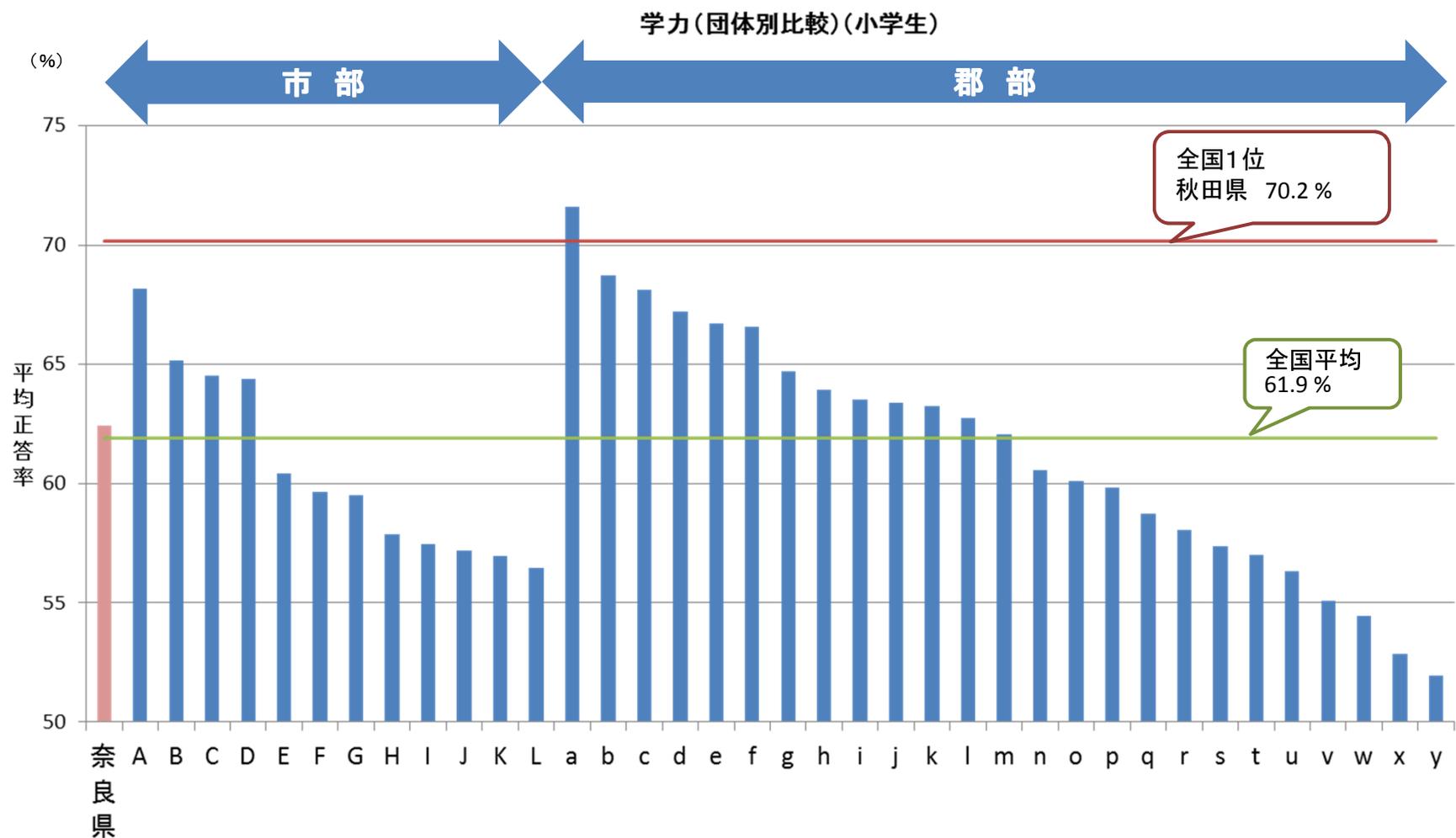


1-4 学力(団体別比較)(小学生)

- 小学生の学力について、H25平均正答率(4教科総合)を団体別にみると、全国平均を上回っているのは、市部では12団体のうち4団体、郡部では25団体のうち13団体、全体で37団体のうち17団体である。

注1)4教科総合:国語A, B, 算数・数学A, Bの各平均正答率を相加平均したもの

注2)児童数が3人以下の2団体は除外している。

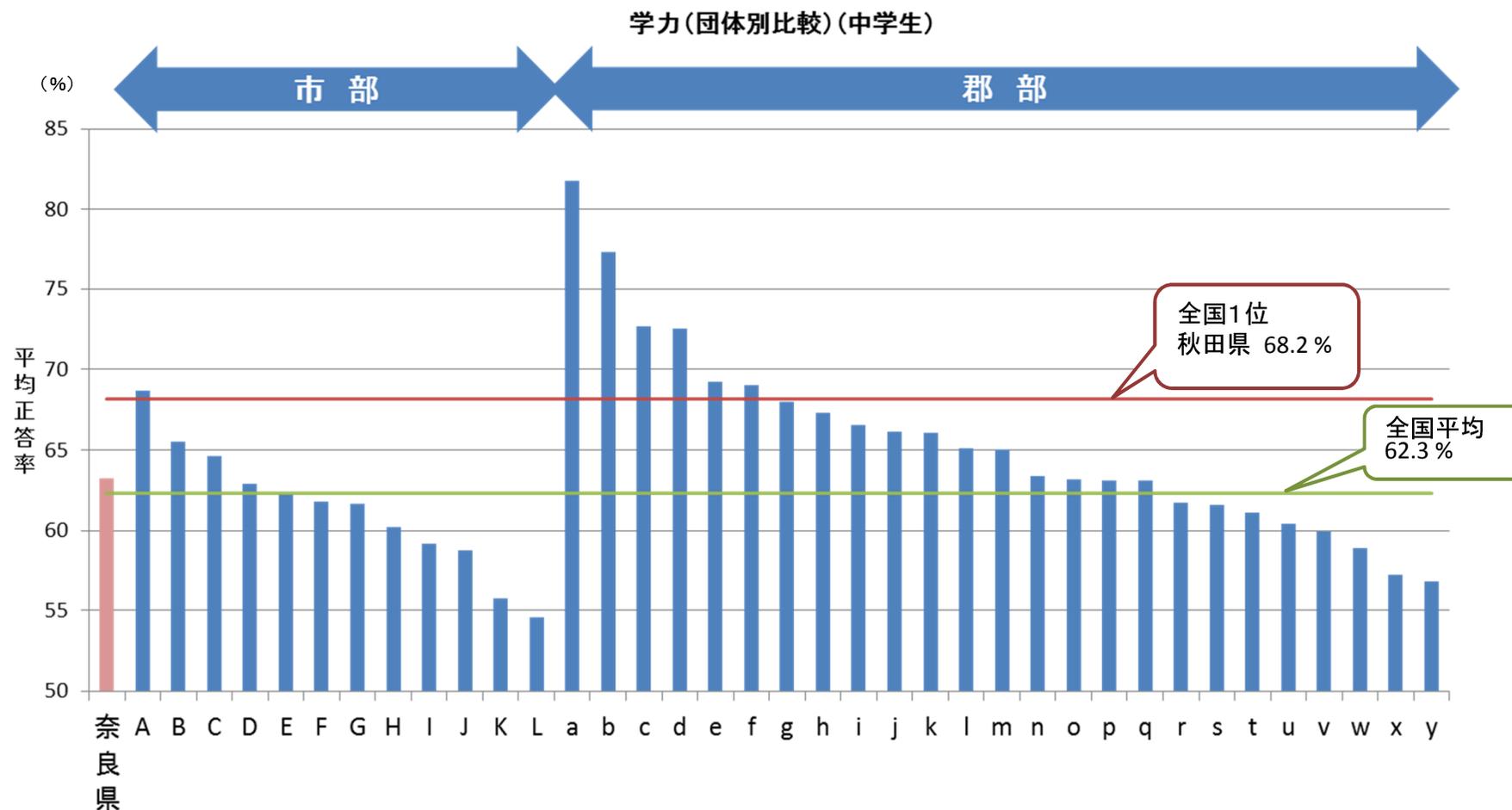


1-5 学力(団体別比較)(中学生)

・中学生の学力について、H25平均正答率(4教科総合)を団体別にみると、全国平均を上回っているのは、市部では12団体のうち5団体、郡部では25団体のうち17団体、全体で37団体のうち22団体である。

注1)4教科総合:国語A, B、算数・数学A, Bの各平均正答率を相加平均したもの

注2)生徒数が3人以下の1団体は除外している。

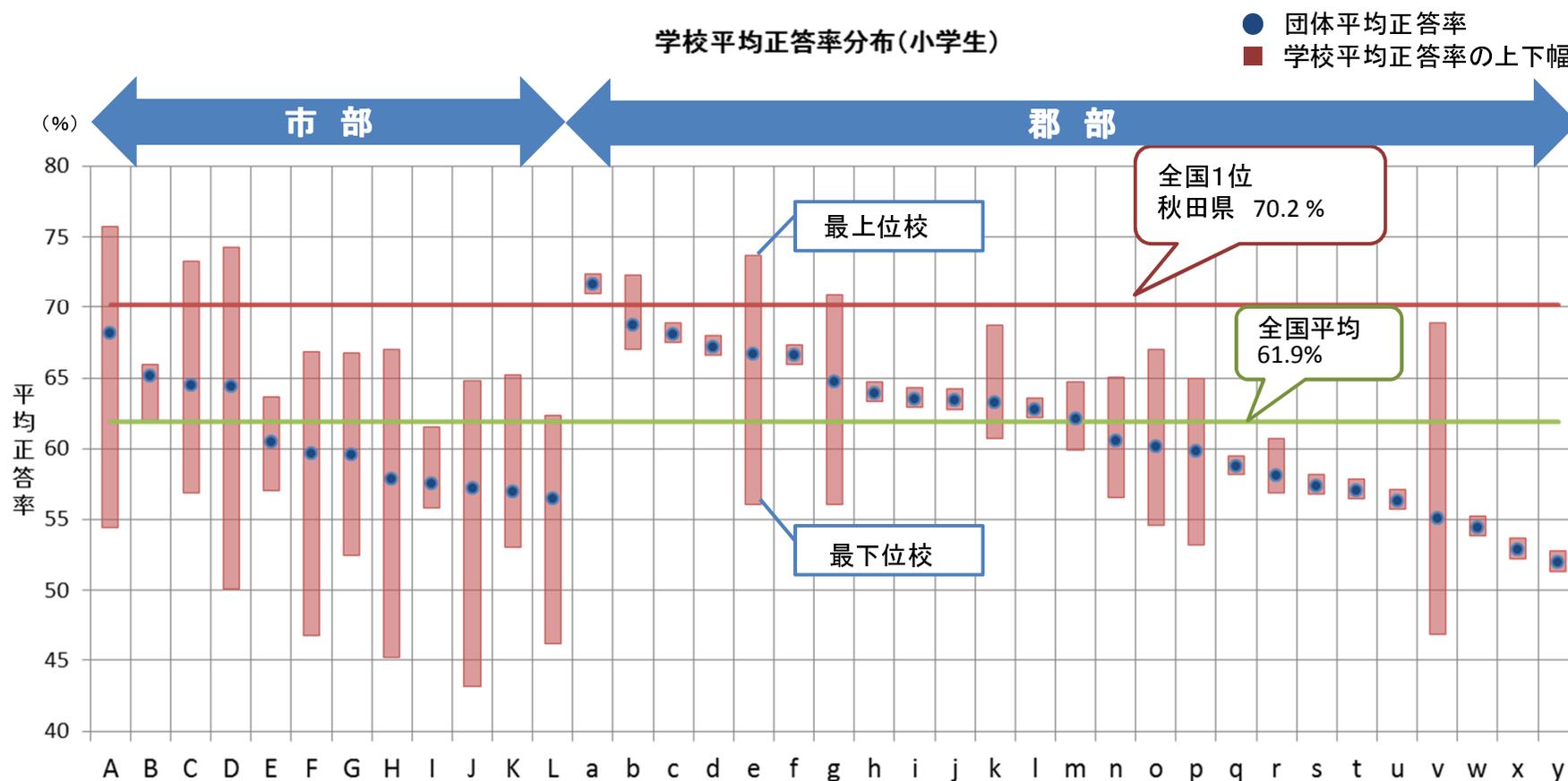


1-6 学力(団体別学校分布比較)(小学生)

- 小学生の学力について、H25平均正答率(4教科総合)の団体別学校分布をみると、全国平均を上回っているのは、市部では152校のうち71校、郡部では51校のうち26校、全体で203校のうち97校である。
- 団体内においても学校間の格差が認められ、低位にある学校の学力底上げが重要である。

注1)4教科総合:国語A, B, 算数・数学A, Bの各平均正答率を相加平均したもの

注2)児童数が3人以下の2団体は除外している。

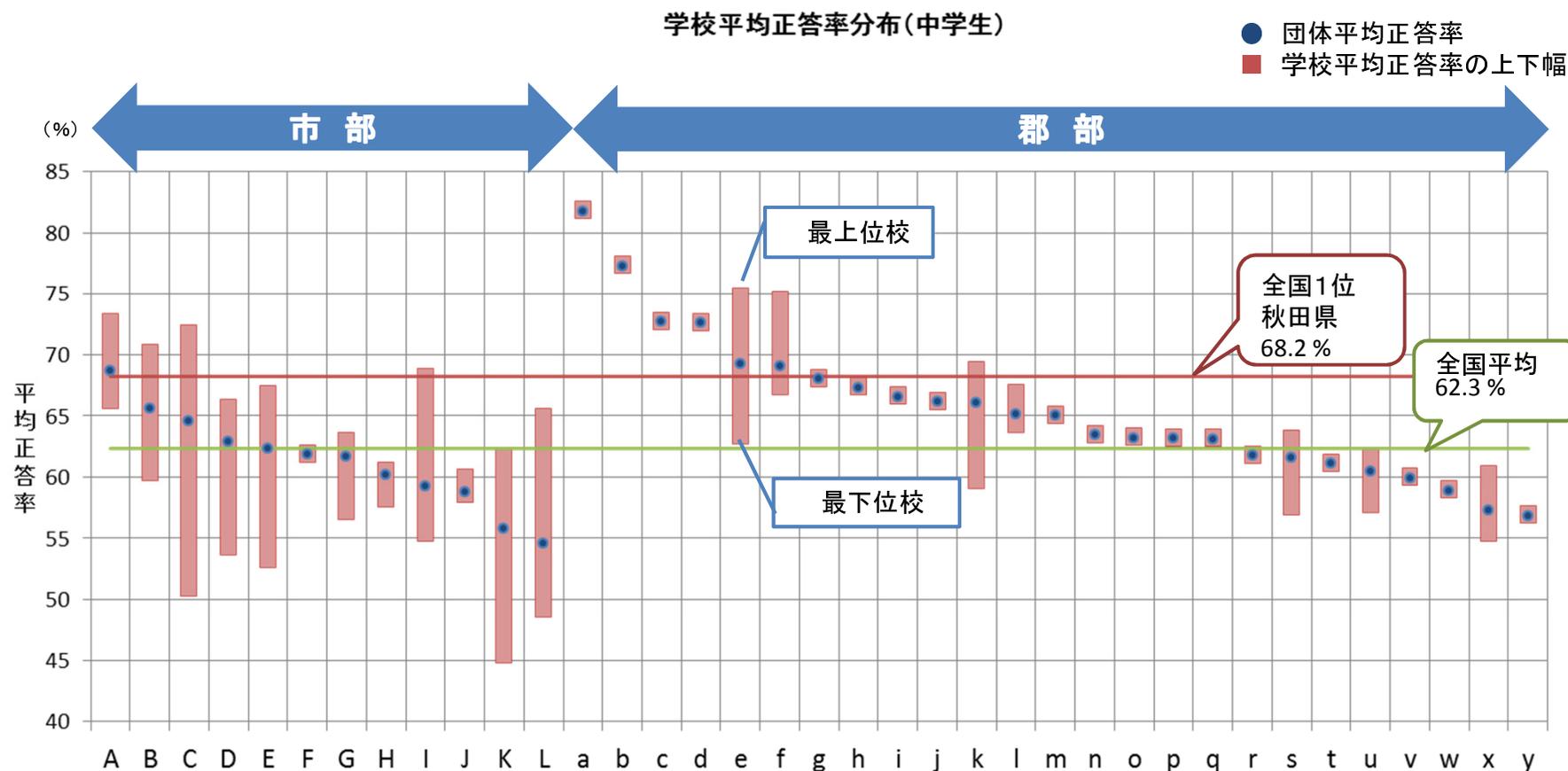


1-7 学力(団体別学校分布比較)(中学生)

- ・中学生の学力について、H25平均正答率(4教科総合)の団体別学校分布をみると、全国平均を上回っているのは、市部では72校のうち35校、郡部では32校のうち21校、全体で104校のうち56校である。
- ・小学生に比べ学校間の格差は縮小しているが、低位にある学校の学力の底上げが重要である。

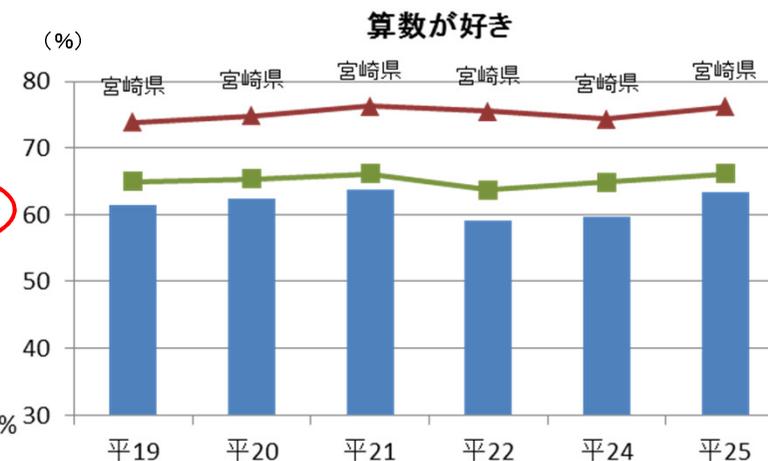
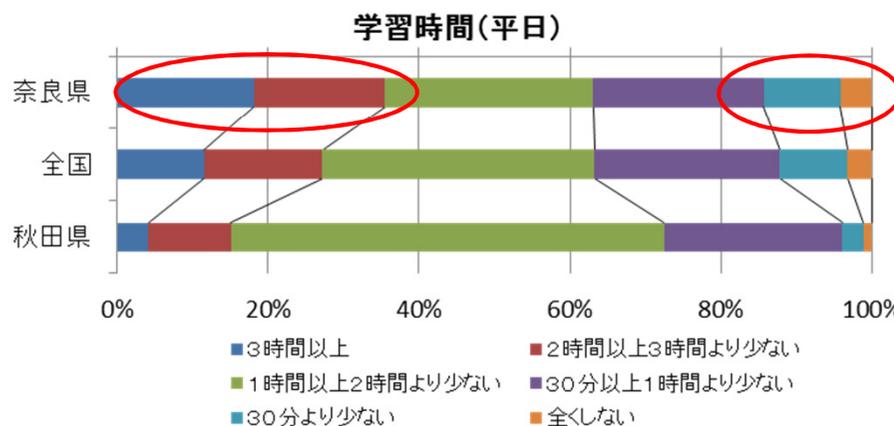
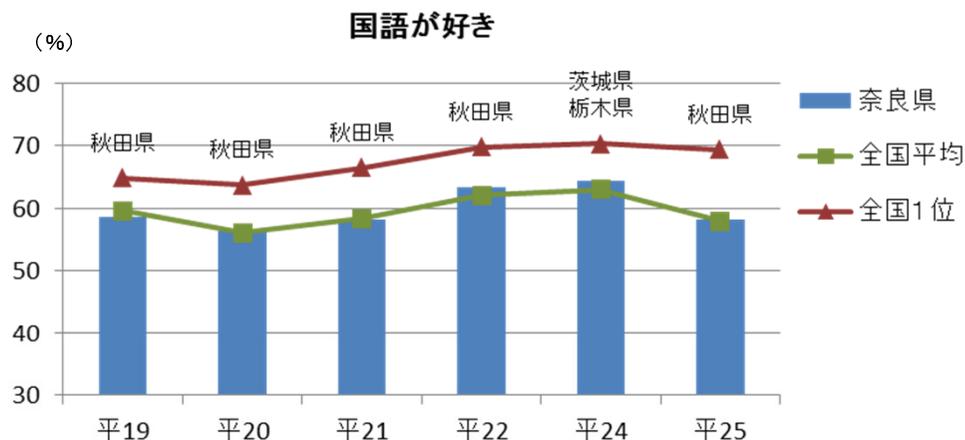
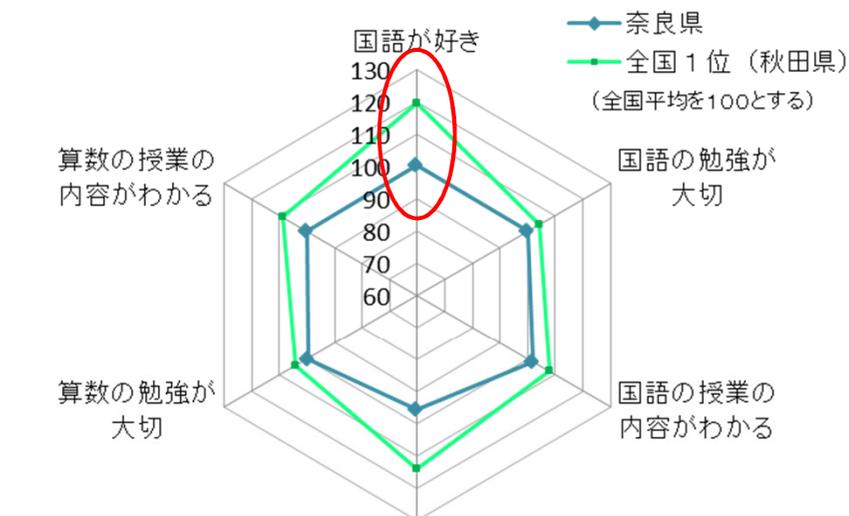
注1)4教科総合:国語A, B, 算数・数学A, Bの各平均正答率を相加平均したもの

注2)生徒数が3人以下の1団体は除外している。



1-8 学習意欲(小学生)

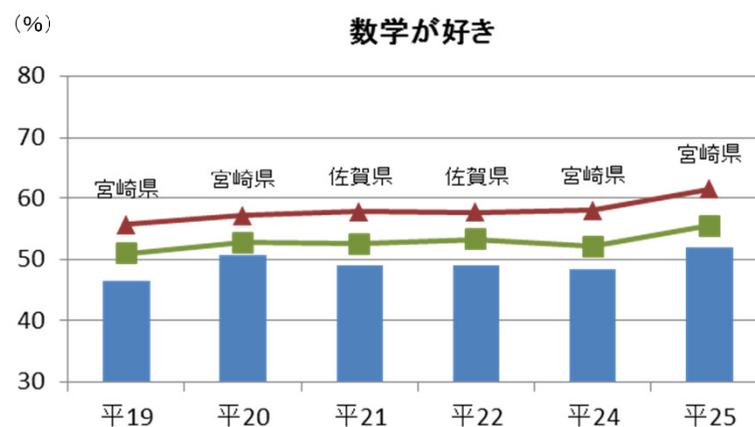
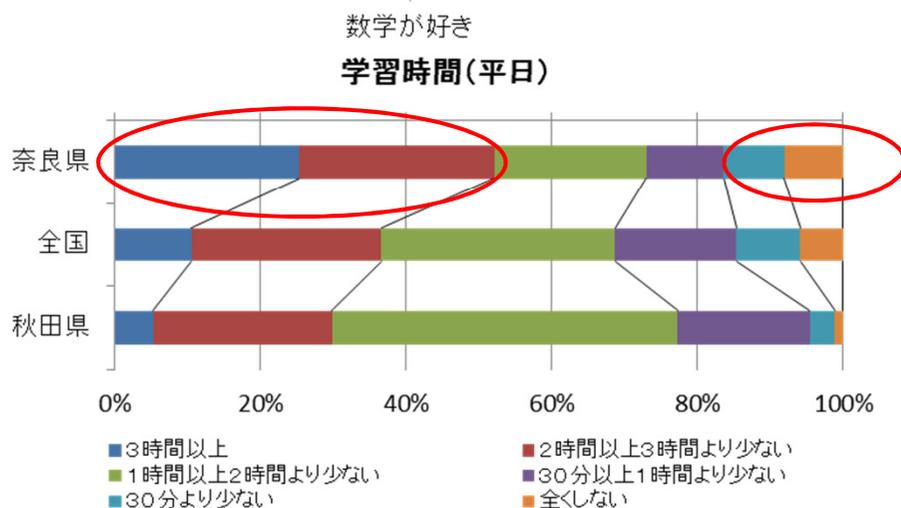
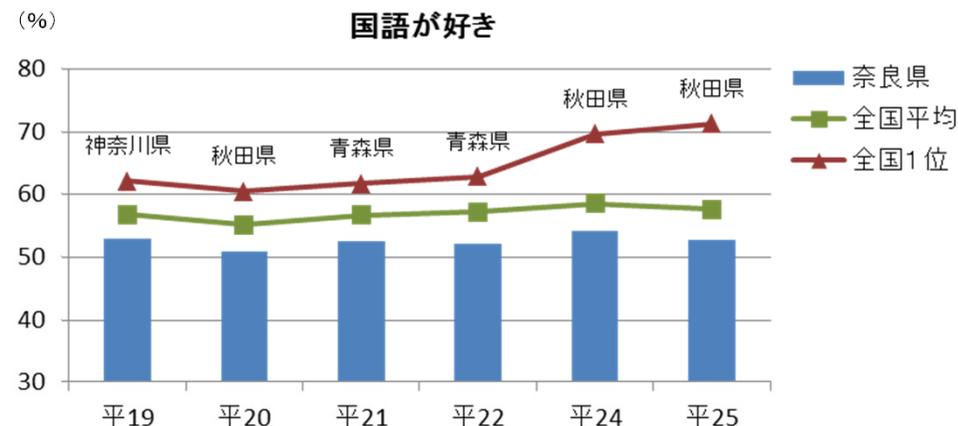
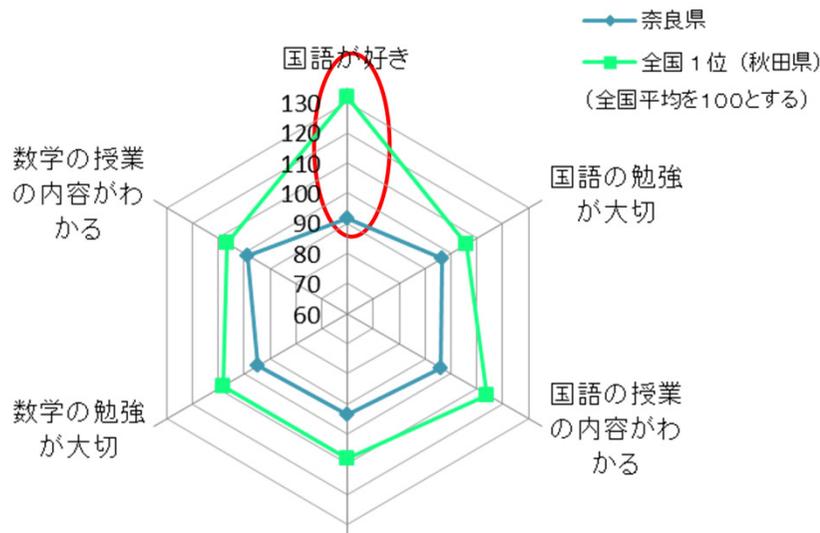
- 小学生の学習意欲について全国学力・学習状況調査で見ると、「国語が好き」の割合は全国並で全国1位との差は11.2ポイントだが、「算数が好き」の割合は全国平均よりも低く、全国1位との差は12.8ポイントである。
- 学習時間は、「2時間以上」と回答した割合が全国トップクラスである。一方で、「30分未満」「全くしない」と回答した割合も高く、二極化の傾向がうかがえる。



出典: 全国学力・学習状況調査(文部科学省)

1-9 学習意欲(中学生)

- ・中学生の学習意欲についてみると、「国語が好き」「数学が好き」の割合は、いずれも全国平均より低く、全国1位との差は、それぞれ18.5ポイント、9.5ポイントであり、小学生に比べ国語の格差が拡大している。
- ・学習時間は、「2時間以上」と回答した割合が全国トップクラスである。一方で、「全くしない」と回答した割合が小学生よりも更に増加し、二極化の傾向を強めている。



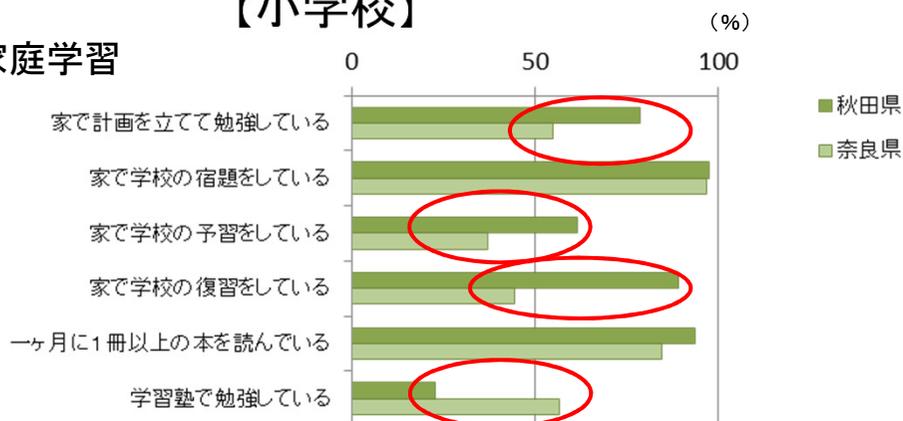
出典: 全国学力・学習状況調査(文部科学省)

1-10 全国1位・秋田県との比較(相違が顕著な項目)

- ・家庭学習については、秋田県の子どもは、「自ら学ぶ」意識が高いことがうかがえる。奈良県の場合は、学習塾へ通う子どもが多く、学習時間は長いものの他律的な学習に陥っていないかが懸念される。
- ・学校の取組として、秋田県では、学力テスト(同県では県独自でも実施)の結果を活用し、授業改善に結びつけるほか、保護者や地域への公表・説明、学力向上につながる保護者、地域への働きかけが顕著である。

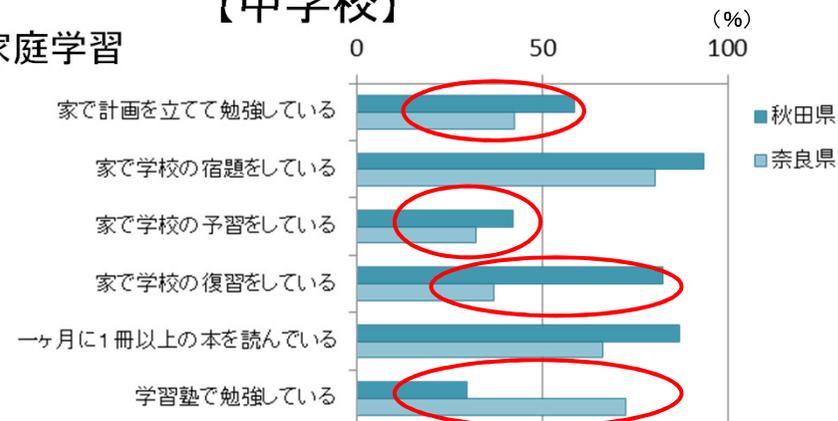
【小学校】

家庭学習

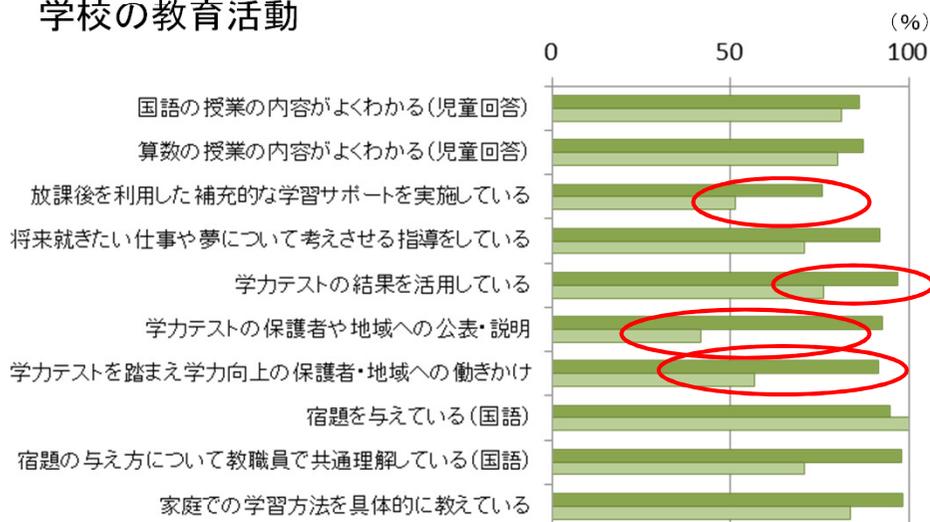


【中学校】

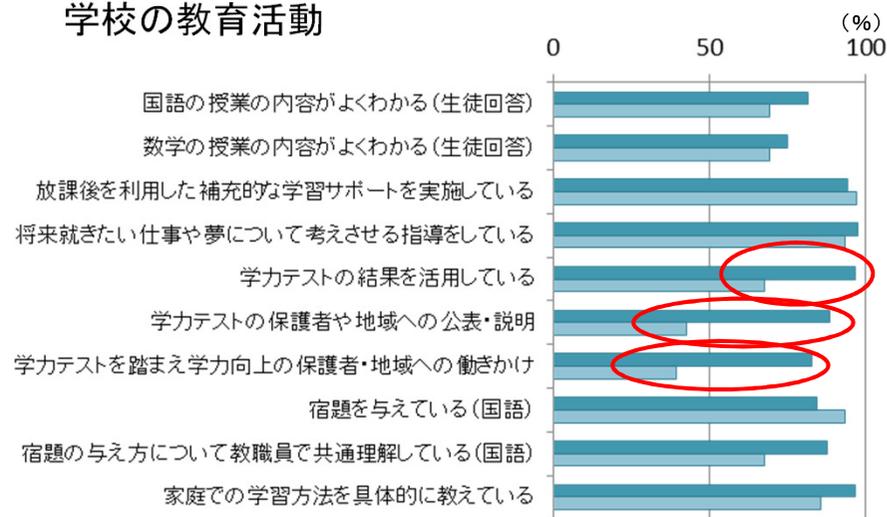
家庭学習



学校の教育活動



学校の教育活動



出典: 全国学力・学習状況調査(文部科学省)

1-11① 学力向上の取組例(高知県)

高知県は、全国学力・学習状況調査の結果が低迷していたが、秋田県の取組を導入し、成果を上げている。

(平成19~21年度)

小学校

ほとんどの教科で全国平均以下



(平成25年度)

3教科で全国平均を上回る(特に国語Aは全国的に見ても高い)

中学校

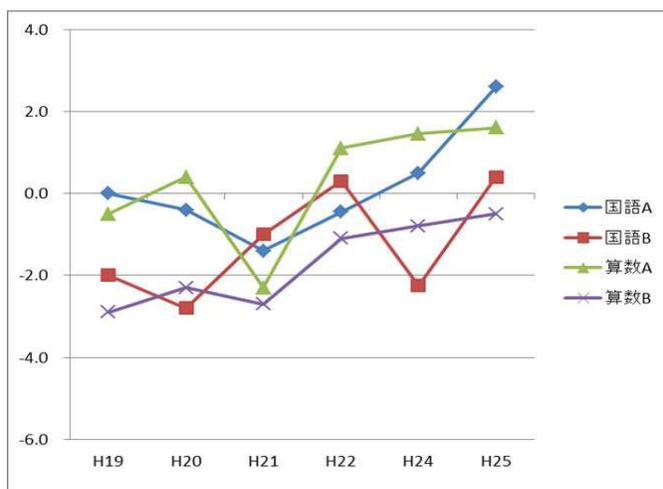
全国平均を大きく下回る(3教科が-8%以下)



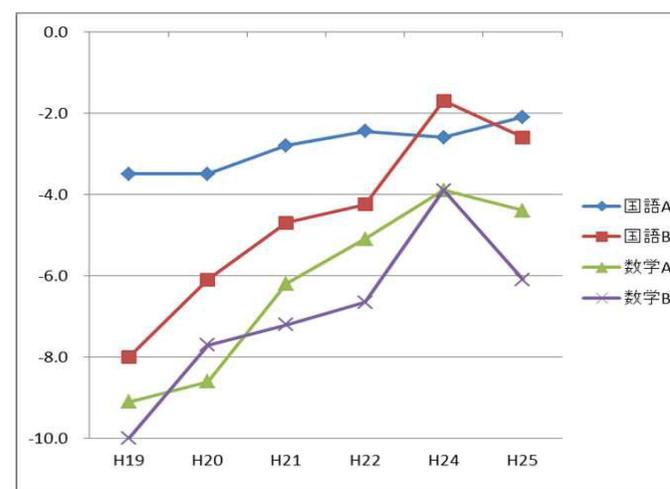
全国平均との差が大きく改善(-8%以下だった3教科は、それぞれ4~5%上昇)

(高知県の平均正答率と全国平均の差の推移)

【小学校】



【中学校】

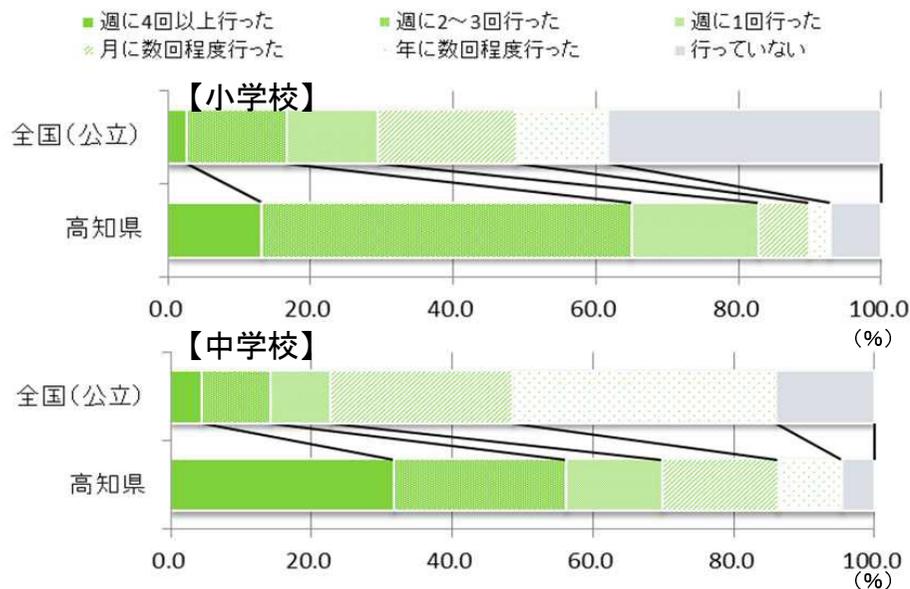


出典: 全国学力・学習状況調査(文部科学省)

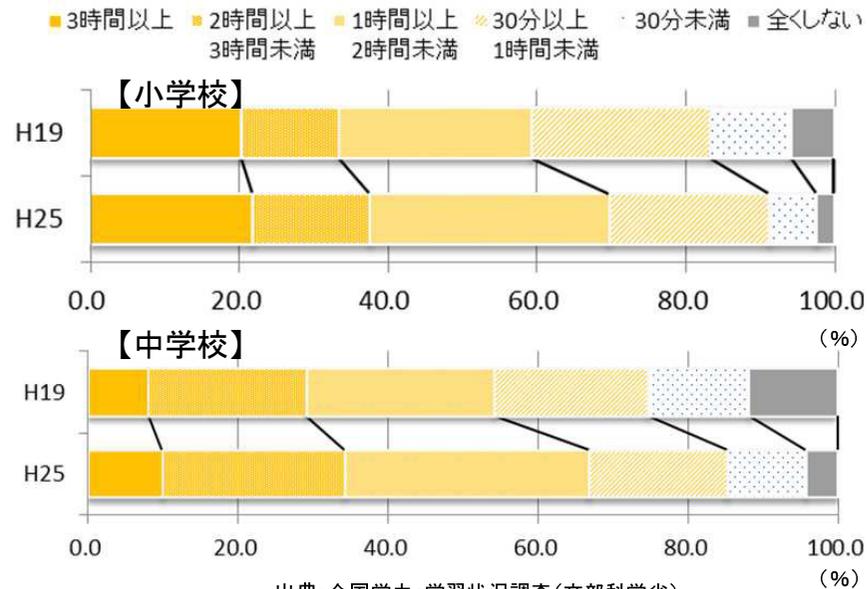
＜高知県の学力向上に向けての取組＞

- 授業や家庭学習で活用できる教材(単元テスト・学習シート)の作成・配布
- 放課後対策を充実し、補充学習を実施(放課後ボランティアの活用)
- 高知県版学力調査の実施(小4・5、中1・2)による授業改善等の効果の検証

放課後を活用した補充学習を行っている学校の割合が全国に比べて多い



児童生徒の平日1日当たりの学習時間が増加



出典: 全国学力・学習状況調査(文部科学省)

1-11② 学力向上の取組例(御所市)

御所市の平均正答率について、県平均との差をみると、着実に改善してきている。

小学校

平成19～25年度に4教科はそれぞれ1.9～3.6ポイント上昇

中学校

平成19～25年度に4教科はそれぞれ2.9～6.5ポイント上昇

<御所市の学力向上に向けての取組>

- 県教委の学力向上実践研究指定校の指定(平成20年度～)を受け、授業力向上に向けた実践的な研究を推進(県教委指定校全41校のうち御所市15校)
 - ・模擬授業等実践的な研修を行っている学校 小学校:71.4% (県 58.3%)
中学校:50.0% (県 27.4%)
- 算数科への意欲を高める「計算力・思考力大会」の開催

1-12 学力・学習意欲の向上に向けて

- 学力向上の取組に当たっては、全国学力・学習状況調査などの統計を活用して、市町村や学校における教育の現状や克服すべき課題についての的確に分析し、関係者の共通理解を図り、市町村や学校のそれぞれの課題解決に向けた取組を検討する必要がある。
- 秋田県の学力水準の高さは子どもの「自ら学ぶ」学習態度や学習意欲の旺盛さによることが示唆されている。子どもに確かな学力を身に付けさせることを保障するとともに、「学ぶ楽しさ」を理解させ、「自ら学ぶ」姿勢を身に付けさせることが大切であり、全国学力・学習状況調査などを活用した授業改善などの様々な取組を検討する必要がある。また、学習時間の少ない子どもについては、家庭学習の習慣化に取り組む必要がある。
- 学力向上を図るためには、家庭や地域との協働も重要であり、保護者や地域に対して積極的に教育に関する情報提供や働きかけを行い、学校、家庭、地域が連携して地域教育力の向上に取り組む必要がある。